




こすもす1組 自立活動 『伝え方名人になろう』

学習活動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿						
<p>1 前時の振り返りから、本時のめあてをつかむ。</p> <p>・難しくても、最後まであきらめずに伝えたい。 ・イライラしてもやさしい言葉で伝えるようにする。 ・わかりやすい言葉で、相手に伝えたい。</p> <p>わかりやすい言葉でお絵かきクイズを伝えよう。</p> <p>2 前時の活動の中で児童のよかった声掛けや姿を共有し、それをもとに教師がモデリングをして活動の見直しをもつ。</p> <p>○ 前時の活動の中で児童から出ていた質問や描く側になった時に難しかったところを全体で振り返り、クイズの時に何を伝える必要があるか確認する。</p> <p>3 クイズ活動を行い、自分で考えた図形をクイズとして出し、友達と尋ねたり答えたりして伝え合う。</p>	<p>○ 前時の子どもたちの発言でよかったところをカードに整理して子どもたちのノートに送ったことで、「自分もやってみよう」と意欲をもち、実際のクイズの中でもカードに書いてある言葉を積極的に使う姿が見られた。</p> <p>○ 前時でお絵描きクイズをつくる際に、レベルを3つ準備して自分で選ぶことができるようにしたことで、自分が説明できそうな絵を描くことができていた。そのため、本時でもそれぞれ無理なく自分の課題に取り組むことができていた。</p>						
<p>○ クイズに向けて、自らの課題に応じて学習方法を選択する。 <b>【方法選択】</b></p> <table border="1" data-bbox="124 801 874 1070"> <tr> <td data-bbox="124 801 188 936">根拠</td> <td data-bbox="188 801 523 936">どんな言葉だと伝わるか自信がない。</td> <td data-bbox="523 801 874 936">声の大きさや言い方に気をつけながら、自分の言葉でやりとりをしたい。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="124 936 188 1070">方法</td> <td data-bbox="188 936 523 1070">穴埋めの説明カードを使って言葉を考える。</td> <td data-bbox="523 936 874 1070">教師や友達にアドバイスを聞いたり、一緒に練習したりする。</td> </tr> </table> <p><b>【個別と協働の一体的充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>練習がうまくいっているか、先生や友達とやりとりをしながら自分の問題を描いてもらって確かめてみる。</li> <li>友達と練習したけれど、うまく伝わらなかったから、お手本カードを見ながらもう一度言葉を確認する。</li> <li>穴埋めカードで言葉を決めたから、先生と練習してみる。</li> </ul>	根拠	どんな言葉だと伝わるか自信がない。	声の大きさや言い方に気をつけながら、自分の言葉でやりとりをしたい。	方法	穴埋めの説明カードを使って言葉を考える。	教師や友達にアドバイスを聞いたり、一緒に練習したりする。	 <p><b>【資料①】</b></p> <p>○ 練習の前に伝えるべきことを確認したことで、「どこに・何色で・どんな・形」という順で説明することを意識しながら説明の練習をしたり、カードに書き込んだりすることができた。</p>
根拠	どんな言葉だと伝わるか自信がない。	声の大きさや言い方に気をつけながら、自分の言葉でやりとりをしたい。					
方法	穴埋めの説明カードを使って言葉を考える。	教師や友達にアドバイスを聞いたり、一緒に練習したりする。					
<p>○ 練習の中で気をつけたことや、むずかしかったこと、うまくいったことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する図形の言葉や図形を描く場所の目安となる番号で表すことなど相手に伝わるようにするための表現の仕方について確認する。</li> </ul> <p>○ お絵描きクイズを行う。</p> <p>順番や「どんな」に気をつけて話すと相手に伝わりやすくなる。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>・穴埋めカードで言葉を考えて先生と練習したので、お絵描きクイズを出し合うことができました。 ・〇〇さんに教えてもらったので、より伝わりやすい言葉が分かりました。 ・もっと難しいクイズもやってみたいと思いました。</p>	<p>○ 練習の方法を自分で選択できるようにしたことで、教師相手に自分の絵を見ながら説明する練習をしたり <b>【資料②】</b>、自分でカードの穴埋めをしながら説明の文章を考えたり <b>【資料③】</b> して、自分が自信をもって伝えるために必要なことを考えながら練習に取り組む姿が見られた。カードなしで説明する練習をした後に、「やっぱりカードがないと説明がむずかしい。」と説明カードの必要性を実感し、カードを作る活動を選択し直すなど自分で学習方法を見直す姿も見られた。</p>  <p><b>【資料②】</b></p>  <p><b>【資料③】</b></p>						

- それぞれの困り感に応じて解決方法を学んでいく自立活動において、学習方法を自己選択・決定させることは、それぞれが自分に必要なことを考えて、自分に合った方法に取り組むことができるという点で有効だったと考える。
- 単元の初めに『キャラクタークイズ』に取り組んだり、ペアで『お絵描きクイズ』に取り組んだりしたことで、相手に伝わる楽しさを実感し、本時の活動への意欲を高めることができたと考える。
- △ 時間が足りずに、説明カードを作るだけで終わってしまった子もいた。個別と協働の行き来ができるよう十分な時間の確保が必要だった。